

2025年2月3日
OpenAI, Inc.
ソフトバンクグループ株式会社
Arm
ソフトバンク株式会社

OpenAI およびソフトバンクグループが提携し、 企業用最先端 AI を開発・販売することに合意

OpenAI およびソフトバンクグループは本日、個々の企業の全てのシステム、データを安全に統合し、当該企業専用にカスタマイズされた企業用最先端 AI 「クリスタル・インテリジェンス (Cristal intelligence)」 の開発・販売に関するパートナーシップを発表しました。ソフトバンクグループ株式会社は、OpenAI のソリューションを全ソフトバンクグループ各社に展開するために年間 30 億米ドル (約 4500 億円相当) を支払い、世界で初めてクリスタル・インテリジェンスを大規模に導入するとともに、ChatGPT Enterprise などの既存ツールも全グループの従業員に展開します。

また、日本企業向けにカスタマイズされたクリスタル・インテリジェンスの展開を加速するため、OpenAI およびソフトバンクグループは合弁会社である「SB OpenAI Japan」を設立することで合意しました。この合弁会社は、日本の主要企業に対して、クリスタル・インテリジェンスを独占的に販売します。

<本パートナーシップの詳細>

クリスタル・インテリジェンスによる産業変革のビジョン

OpenAI は、論理的推論が可能な AI モデルの o1 シリーズを 2024 年に公開しました。2025 年には、この AI モデルが、ユーザーの指示したタスクを自律して実行することができる AI エージェントに進化します。

この AI エージェントは、財務関連の資料作成や文書の作成、お客さまのお問い合わせ管理などの日常におけるタスクを自動化することができ、ユーザーはクリエイティビティや戦略的な意思決定など、他の業務に時間を費やすことが可能になります。

OpenAI、ソフトバンクグループ株式会社、Arm およびソフトバンク株式会社は、全ての働く人々がより効率的に業務を行い、さらに複雑な問題を解決できるようにするというビジョンを共有しています。クリスタル・インテリジェンスにより、AI エージェントは、企業のニーズに適応する高度なシステム基盤を構築していきます。

全ソフトバンクグループ各社にクリスタル・インテリジェンスを導入

このたびクリスタル・インテリジェンスをソフトバンクグループ全体に導入することで、高度なシステムの開発と AI エージェントの普及を加速させます。OpenAI との契約により、Arm やソフト

バンク株式会社を含むソフトバンクグループの企業は、日本国内において、OpenAIが開発する最新かつ最先端のモデルを優先的に利用することができます。

Armとソフトバンク株式会社は、クリスタル・インテリジェンスにより、日本のあらゆる産業における企業変革を起こします。

具体的な取り組みは、次の通りです。

- ・Armは、クリスタル・インテリジェンスの活用によりイノベーションを加速することで生産性を向上させ、AIをグローバル規模で発展させる上で、さらに重要な役割を果たします。
- ・ソフトバンク株式会社は、クリスタル・インテリジェンスを活用して1億以上のタスクを自動化し、業務の自律化を図ります。また、追加学習およびファインチューニングを行う安全な環境を構築し、エコシステム内で業務効率を向上させて、新たなビジネス機会の創出を目指します。活用に当たって、ソフトバンク株式会社と合弁会社はデータの追加学習やファインチューニングを行う環境を構築し、安全な環境でさまざまなデータ※を学習、自社のシステムと連携させることで、AIエージェントを構築します。
- ・ソフトバンク株式会社は、あらゆるタスクを自動化・自律化させることで、事業やサービスを変革し、新たな価値を創出します。

イノベーションに向けた共同の取り組み

SB OpenAI Japanは、OpenAIと、ソフトバンクグループ株式会社およびソフトバンク株式会社が設立する中間持株会社が、それぞれ50%ずつ出資して、ソフトバンク株式会社の連結子会社となる予定です。日本企業特有のニーズに対応したAIエージェントの導入を促進するとともに、グローバル規模でのモデルを構築します。

企業がAIを最大限に活用するには、データの追加学習やファインチューニングを行うことが必要不可欠です。この合弁会社は、クリスタル・インテリジェンスを日本の主要企業向けに独占販売し、データの追加学習やファインチューニングを行う環境を構築し、日本の導入企業が、安全な環境で社内のデータを学習させ、自社のシステムと連携したAIエージェントを構築することを可能にします。これにより、企業はあらゆるタスクを自動化・自律化し、事業やサービスを変革し、新たな価値を創出することができます。

OpenAIは、SB OpenAI Japanに対して最先端のAI研究と技術、技術面でのサポートを提供します。ソフトバンク株式会社は、エンジニアと営業を担う社員を配置し、国内のネットワーク、保守運用および強固な法人顧客基盤を生かして、営業展開を行います。

Armは、AIエージェントにより増大する計算需要に対応するため、そのコンピュータプラットフォームを通して、クラウドからエッジまで、必要なパフォーマンス、効率化およびスケーラビリティを提供します。

この日本での取り組みを通じて、世界規模でAI変革を実現するための基盤モデルを創出します。

ソフトバンクグループ株式会社の代表取締役 会長兼社長執行役員である孫 正義は、次のように述べています。

「各企業専用にカスタマイズされた企業用最先端 AI であるクリスタル・インテリジェンスを大々的に展開できることを大変うれしく思います。この取り組みは、ソフトバンクグループのみならず、日本および世界中の企業の働き方に大きな革新をもたらすでしょう。ソフトバンクグループは、グループを挙げてこの新しいプロダクトを活用し、OpenAI との強力なパートナーシップをもって、AI 革命を推進していきます」

OpenAI の CEO であるサム・アルトマン (Sam Altman) は、次のように述べています。

「ソフトバンクとの本パートナーシップは、我々のビジョンの実現を加速させ、日本を皮切りに、世界で最も影響力のある企業に対して革新的な AI を提供します。」

Arm の最高経営責任者であるレネ・ハース (Rene Haas) は、次のように述べています。

「Arm は、OpenAI およびソフトバンクグループと提携し、グローバルでの技術におけるエコシステム全体に前例のない生産性を促進することで、新たな指標を設定し、AI エージェントが Arm を基盤としたエッジからクラウドまであらゆるところに存在する未来を構築します。私たちは AI 革命の最前線に立ち、われわれの高性能でエネルギー効率の高いコンピュータ技術が、クリスタル・インテリジェンスの進化にとって重要な役割を果たします」

ソフトバンク株式会社の代表取締役 社長執行役員 兼 CEO である宮川 潤一は、次のように述べています。

「OpenAI とのパートナーシップの締結を大変うれしく思います。弊社は長期ビジョンである『次世代社会インフラの構築』の実現に向けて、分散型 AI データセンターや日本国内最大級の AI 計算基盤の構築などさまざまな取り組みを推進し、AI の社会実装を目指しています。このたびの OpenAI との協業が日本の産業をどう変革していくのか非常に楽しみにしております。クリスタル・インテリジェンスの導入と活用をサポートすることで、法人のお客さまの経営変革を実現していきます」

※ データには、通信事業で使用される機密情報や個人情報に関連する情報は含まれません。また、導入企業のデータについては、日本国内の AI データセンターのサーバー上で、安全に管理するための検討を進めていく予定です。